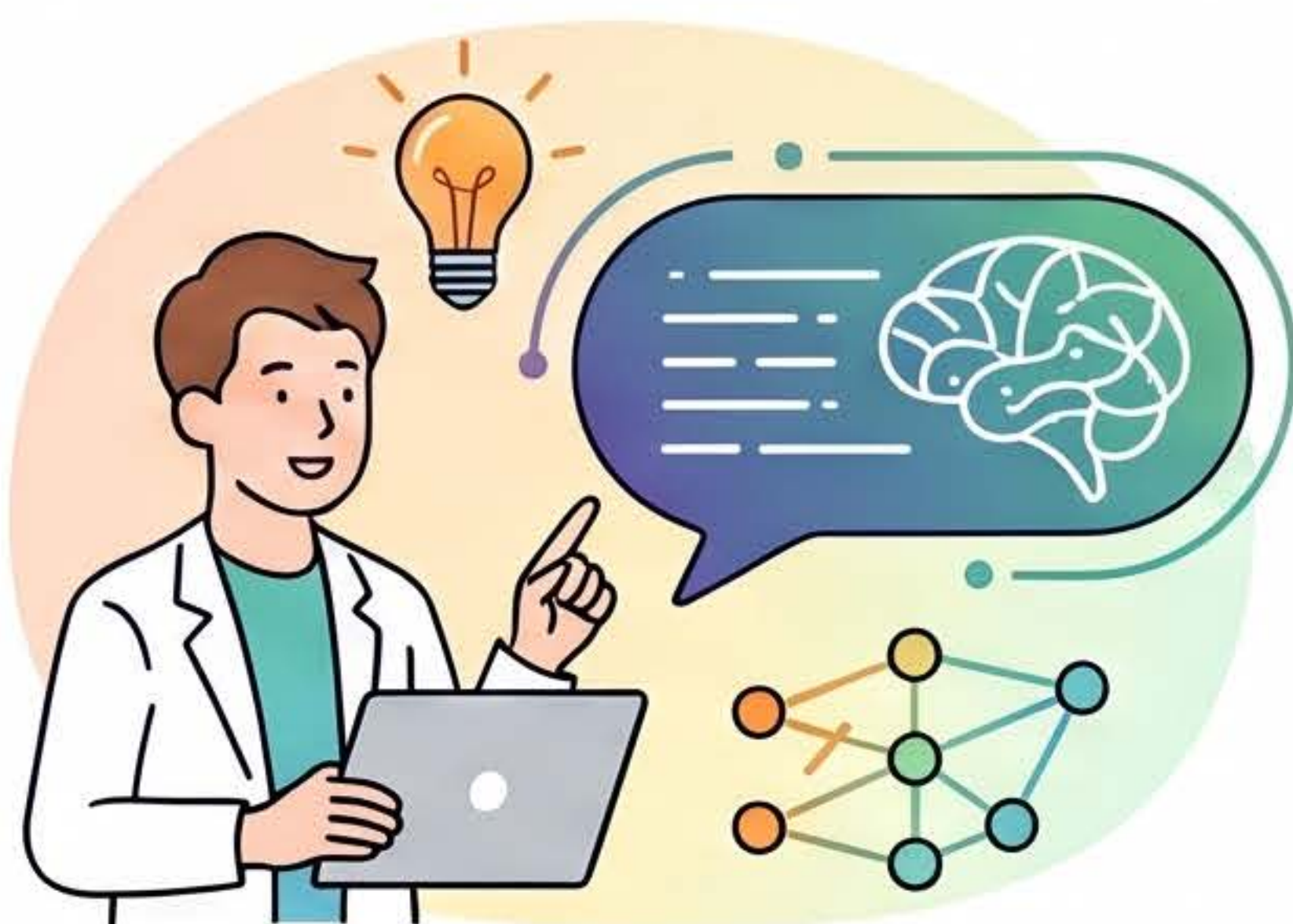


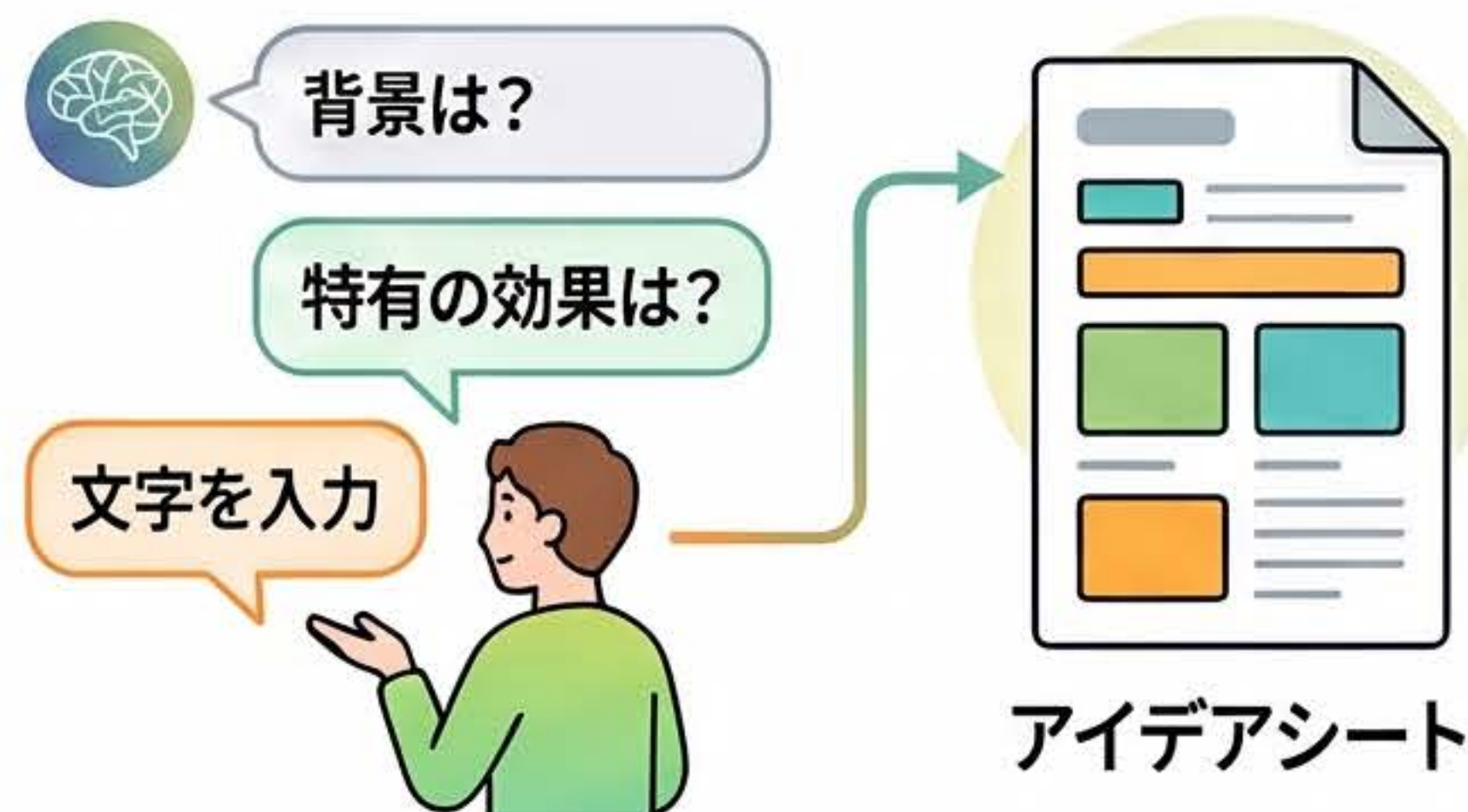
知財DXの新潮流: AIで変わる「アイデアシート」作成の未来

特許出願の起点となる「アイデアシート」の作成は、発明者にとって言語化や構造化の負担が大きく、有望な発明の埋没が課題でした。
NTTドコモビジネスのAIエージェントは、対話形式で思考を整理し、キヤノン株式会社の実証実験でも「作成時間の短縮」と「心理的負担の軽減」という成果を上げています。

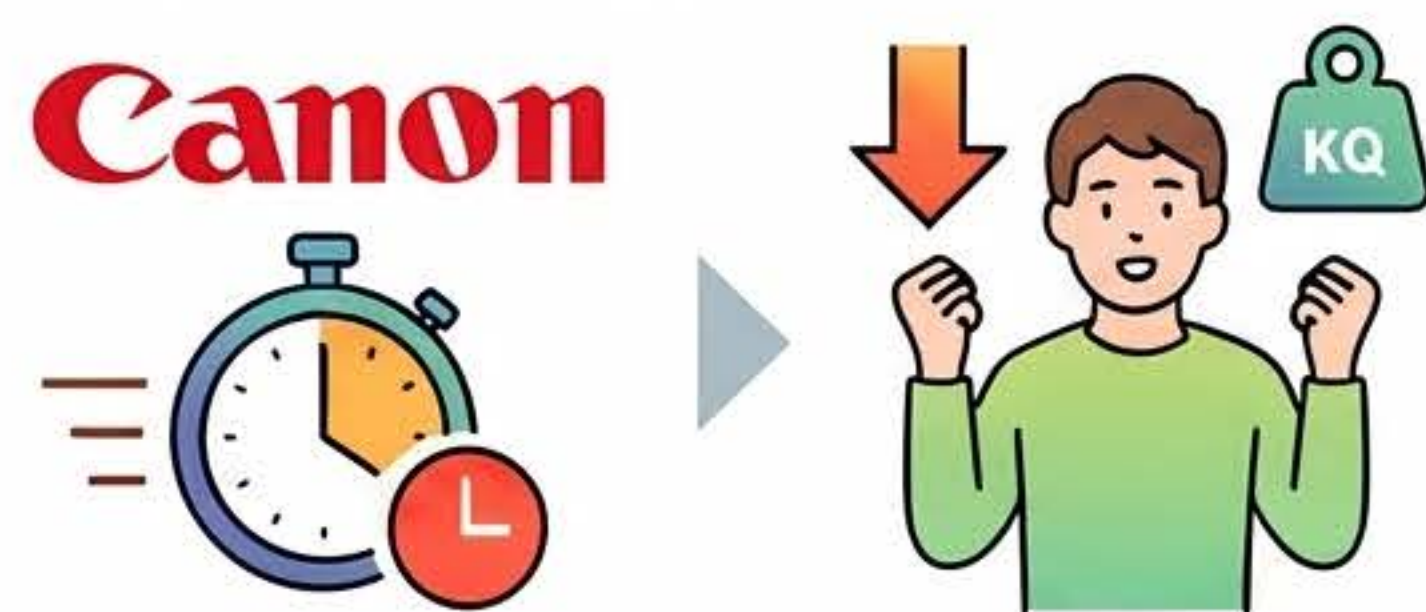
発明者の課題を解決する「対話型AI」の仕組み



● 対話型ワークフローによる思考の言語化

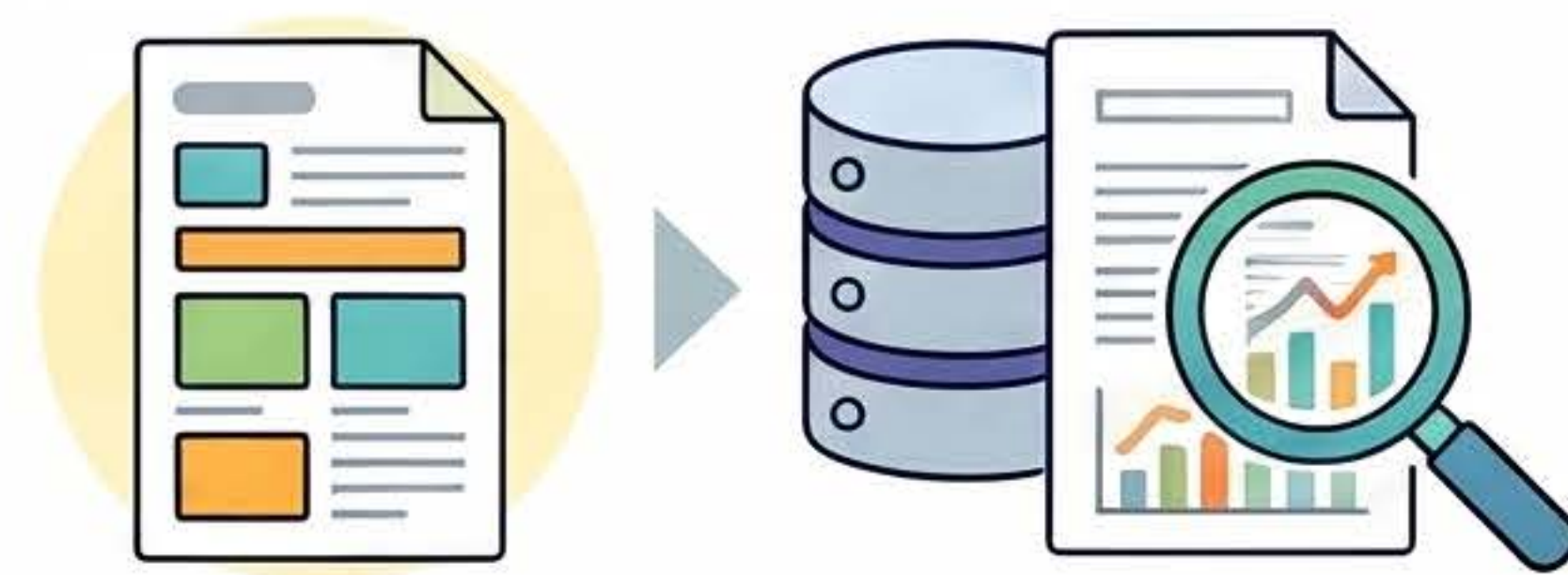


● キヤノンでの実証で「負担軽減」を証明



作成時間の短縮に加え、発明者の心理的ハードルを下げる効果が確認されています。

● 既存アイデアとの技術的差異を即座に分析



先行特許情報等と照らし合わせ、独自の優位性を明確にすることで、出願精度を高めます。

企業の機密を守る安全設計と法的適合性



● プライベート環境でのセキュアな運用

企業のポリシーに合わせ、オンプレミスや閉域クラウド環境での構築が可能です。



● 「Human in the Loop」による品質担保

AI任せにせず、常に人間（発明者）が判断・修正を加える設計でガイドラインに適合します。



● 弁理士法を遵守した業務支援

書類作成の「代行」ではなく、あくまで発明者の「整理支援」に特化し、法的リスクを回避します。

